

先の 10 月 19 日(日)に行われた平成 20 年秋期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者／初級システムアドミニストレータ試験の合格発表がありました。統計データをもとに、全体のスコア分布と合格率関連の情報をお知らせします。

## ■初級システムアドミニストレータ試験(AD)

### [平成 20 年秋期の初級シスアド試験 統計情報]

応募者	51,460 人
受験者	38,899 人
合格者	11,125 人
合格率	28.6%

今回の平成 20 年秋の応募者は、昨年同時期の平成 19 年秋の試験に比べて約 18,000 人ほど減りました。合格率は 28.6%で前回より若干下がりました。午前試験が前回同様にやや難しい問題がいくつか出題されており、また午後試験でもやや難しい問題がありました。今回午後試験で合格スコアの 600 以上だった人は、試験センター発表の統計データによると全体の約 4 割で、従来 5 割近くあったことを考えると、若干合格率が下がったのは、午後試験が難しかったからと言えそうです。

初級システムアドミニストレータ試験は来年春が最後の試験になります。

### [午前問題]

- ・過去問題は 7 割以上あり、前回よりもやや高くなりました。この中で初級シスアド (AD) 試験の過去問は 39 問ほどあり、平成 17 年～19 年の問題が多いといえます。今回は他の高度系の試験と同じ問題が出題されてはいませんでした (昨年秋はシステムアナリストと同じ問題が 8 問あった) が、難易度としてはやや難しかったといえます。
- ・新傾向問題もしくは新しい用語の意味を問う問題として、次のような出題がありました。

問 7 PC の冷却

問 9 メモリリークへの対処法

問 29 コード設計

問 32 デフォルト値の選定

問 48 電子商取引時のセキュリティ技術

問 50 コンピュータ不正アクセス対策基準

問 53 Web サーバのコンテンツの改ざん対応

問 54 ビジネスインパクト分析実施事項

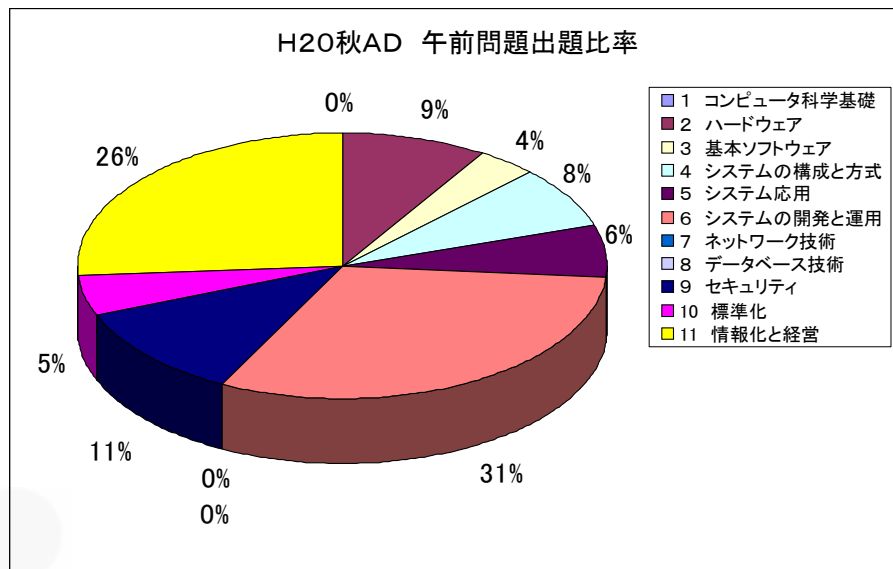
問 66 棚卸減耗費として処理するものの説明

問 67 現場改善の 5S

最近の傾向としては、数年前のようなシステム利用者の立場で解ける問題が少なくなってきました。今回もシステム開発側の内容といえる問題がいくつかありました。このため、問題全体で難しく感じた受験者が多かったと思われます。

- ・前回の試験問題では、基本ソフトウェア、システムの開発と運用、セキュリティ分野の問題が難しかったといえます。

平成 20 年秋期の初級システムアドミニストレータ試験



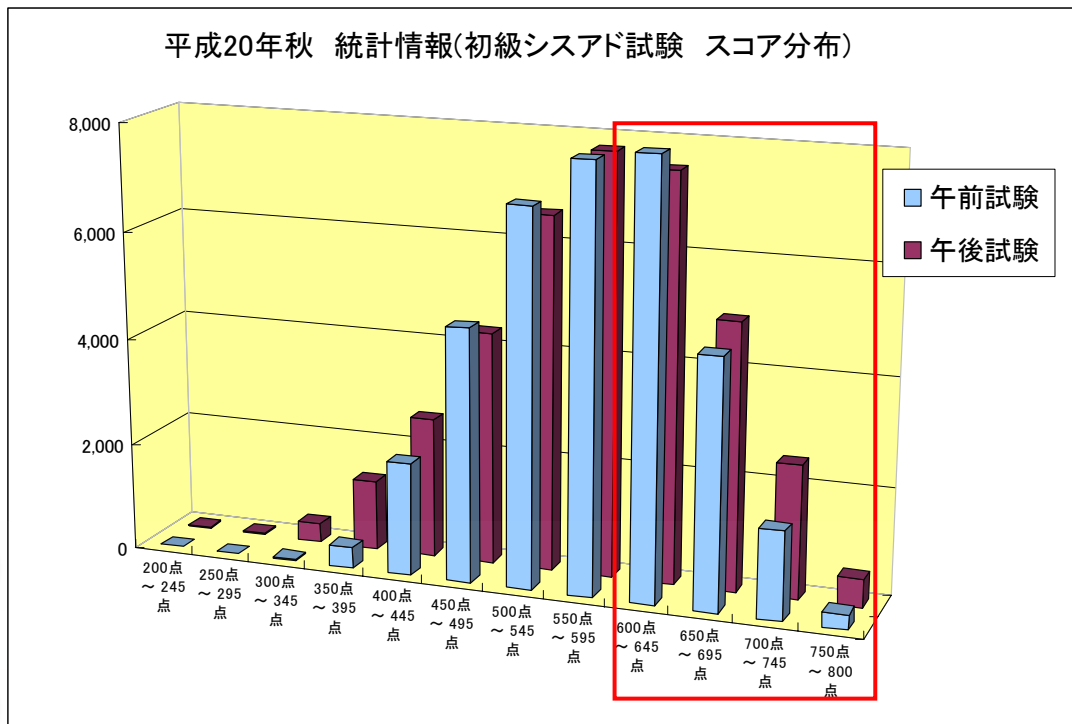
〔午後問題〕

- ・今回は業務分析，データ分析，経営分析を中心としたオーソドックスな出題内容で，4 問出題されました。他にはデータベース（セキュリティ関連），表計算ソフト，ネットワークの運用管理という出題内容でした。
- ・問 7 は以前にも出題された午後問題の改題でした。

今回発表された初級シスアド試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと次のようになります。

〔平成 20 年秋 統計情報(初級シスアド スコア分布)〕

スコア	午前試験	午後試験
200 点 ~ 245 点	4	10
250 点 ~ 295 点	0	23
300 点 ~ 345 点	20	354
350 点 ~ 395 点	395	1,293
400 点 ~ 445 点	2,097	2,600
450 点 ~ 495 点	4,699	4,328
500 点 ~ 545 点	6,951	6,567
550 点 ~ 595 点	7,828	7,772
600 点 ~ 645 点	8,820	7,504
650 点 ~ 695 点	4,618	4,940
700 点 ~ 745 点	1,643	2,475
750 点 ~ 800 点	277	531
計	37,352	38,397
合格者数	11,125	合格者数との差
午前 600 以上合計	15,358	4,233
午後 600 以上合計	15,450	4,325



ここで、午前試験で合格基準点のスコア 600 以上の人 が 15,358 人、午後で合格基準点のスコア 600 以上の人 が 15,450 人います。合格者数が 11,125 人であることから、午前試験は合格点を取れたが午後試験で失敗した人が 4,233 人（前回 2,259 人）と多く、逆に午後試験では合格点を取れたが午前試験で合格点未達の人 が 4,325 人（前回 6,291 人）いることとなります。このことから、今回の午後試験はやや難しく、次回の最後の試験対策として、午後問題の演習を重ねて得点を上げる努力をすることが大切です。

今回、得点が 550 点～595 点の人（午前試験で 7,828 人、午後試験で 7,772 人）は、“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、今秋試験の対策を早めに始めましょう。

初級シスアド試験は来年春期が最後となりますので、最後の試験で是非合格して頂きたいと思います。アイテックでは、各試験種別ごとに予想問題集、徹底解説本試験問題、午後問題の重点対策を出版している他、通信教育コースでは午前試験対策に必要なテキスト、テストをすべて含んだ「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2 回）を含んだ標準学習時間 3 か月の「短期コース」など、教育メニューを用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

(以上)